

スムーズな成立評価

景気の腰折れを懸念

地方議員
中国選出

2014年度予算が成立

した20日、中国地方選出の与党の国会議員からは戦後3番目の早期成立を「国民の期待に応えた」などと評価した。野党議員は来月からの消費税増税への対策が「不足している」と、今後の景気の腰折れを懸念する声が上がった。

自民党の宮沢洋一氏(参

院広島)は「衆参両院で多くの議席を与えてくれた国民の期待に応えられた」とスムーズな成立を自賛。消費税増税について「必要なら追加の経済対策を検討する」と今後の国会運営にも自信を見せた。

「アベノミクスの果実を

地方に早く届けられる」と受け止めたのは、公明党の梶屋敬悟氏(比例中国)。過去最大の予算に「ねじれ解消による安定した政権だから、大胆な経済政策に取り組める」と強調した。一方、野党議員は公共事業中心で家計への配慮が乏

しい予算に批判のトーンを上げた。民主党の森本真治氏(参院広島)は「ばらまき予算では将来世代に負担を先送りするだけ。成長戦略も具体性に乏しく、増税後の先行きは不安だ」と主張した。

日本維新の会の坂元大輔氏(比例中国)は「政府・与党は一方的に予算審議を進めた」と議論不足を指摘。「規制緩和と法人税の引き下げによる海外投資の呼び込みが必要だ」と追加を求めた。

(坂田茂、藤村潤平)